

年分結果（確報、事業所5人以上）は、建設業の現金給与総額が前年比5・0%増の45万3559円だった。内訳は「きまって支給する給与」が2・8%増の36万2599円、「特別に支払われた給与」が14・3%増の9万0960円。きまって支給する給与は、所定内給与が3・3%増の33万8747円、所定外給与が3・2%減の2万3852円。調査対象の産業の全体ベースは現金給与総額が2・8%増の34万7994円だった。

建設業の総実労働時間は1・7%減の161・5時間で、所定内労働時間は1・2%減の148・8時間、所定外労働時間が7・4%減の12・7時間だった。出勤日数は0・3日減の19・8日だった。全体ベースは総実労働時間が1・0%減の136・9時間、所定内労働時間が0・9%減の126・9時間、所定外労働

時間が2・7%減の10・0時間、出勤日数は0・1日減の17・7日だった。労働者総数は建設業が0・3%増の252万1000人、全体ベースが1・2%増の5081万4000人。建設業の入職率は前年から0・09%上昇し1・36、離職率は0・04%下落の1・26だった。

建設業の現金給与総額 5%増45万3559円

厚生省、毎月勤労
統計調査24年分確報

厚生労働省がまとめた毎
月勤労統計調査の2024

